

今井 顕 音楽講座

作曲家の意図を考え、音をよく感じ、
感性豊かな表現とは？

今井 顕 (いまいあきら) PROFILE

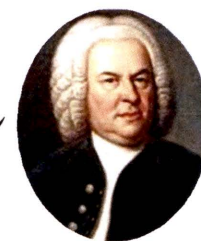


東京に生まれる。私立武蔵高校在籍中に渡欧、ウィーン国立音楽大学に16歳で入学する。

8年間の課程をわずか3年で修了し、早くも19歳の時に最優秀の成績で卒業。数々の国際コンクールで頭角をあらわし、コンサートピアニストとして国際的な活動を開始する。その後ウィーン国立音楽大学ピアノ専攻科における日本人初の指導者として抜擢され、数多くのピアニストを育成した。通算24年にもおよぶヨーロッパ滞在中の音楽分野における業績と尽力に対しオーストリア政府より名誉教授の称号を授与され1995年に帰国、その後国立（くにたち）音楽大学大学院にて後輩の育成に携わった。

楽譜、書籍などの出版物も数多く、国際コンクールの審査員として招聘されるなど、日本の誇る国際派ピアニストとして内外で高い評価を受けている。宇都宮短期大学音楽科客員教授、国立音楽大学名誉教授、一般社団法人全日本ピアノ指導者協会評議員。

バロック作品による公開レッスン



公開レッスン出演者及び曲目

橋本 花愛 (宇都宮短期大学附属高等学校音楽科3年)

バッハ：平均律クラヴィーア曲集第2巻より 第2番ハ短調BWV871

村上 琴音 (宇都宮短期大学ピアノ演奏専攻コース1年)

バッハ：平均律クラヴィーア曲集第2巻より 第17番変イ長調BWV881

綱川 爽良 (宇都宮短期大学ピアノ演奏専攻コース1年)

バッハ：パルティータ第5番ト長調BWV829より「プレリュード」